

2022年参議院選挙闘争推進 NEWS

全労連参議院選挙闘争本部 2022年6月8日 No.3

参議院選挙で労働者の切実な要求実現を、共産党に要請

全労連は6月7日、「2022年参議院選挙での私たちの要求実現と野党共闘の強化を求める要請」と「ケア労働者の大幅賃上げを求める要請」の2つの要請書にもとづいて日本共産党との懇談を行いました。

要請は小畑雅子議長と川村好伸副議長の2人で行い、日本共産党からは参議院議員の山下芳生副委員長と米沢幸悦労働局次長が対応しました。小畑議長が2つ要請書を手交し、「労働者の切実な要求をとりまとめた8項目の課題を選挙政策に反映していただきたい」、「岸田政権の目玉政策であったケア労働者の処遇改善は、一ケタ足りず、補助金の対象職種や対象事業が限定的で、他産業との格差は是正されていない。抜本的な改善が必要」と述べるとともに、「共闘への攻撃が強まっているが、憲法を守りいかし、労働者の要求を実現するためには市民と野党の共闘の道しかない」と要請しました。



山下副委員長は、「参議院選挙の公約は仕上げの段階だが、全労連の要求は私たちの政策と一致している」と述べるとともに、今度の参議院選挙はこれまでにない緊迫した選挙となっているとして、「ウクライナ危機に乗じて、『力対力』で戦争する道か、9条いかした外交努力なのか」、「物価高騰から暮らしと営業を守るためにも新自由主義の転換が求められている」、「日本の政治の現状を変えるためにも市民と野党の共闘の強化が必要」、「9条いかした平和外交の訴えに共感が広がっている」と話し、参議院選挙で市民と野党の共闘を発展させるためにも日本共産党が躍進するよう奮闘すると述べました。また、最低生計費試算調査の結果で全国どこでも1500円の最賃が必要との訴えには、「1500円の根拠が具体的に示されており、今後の訴えに活用したい」と応えました。

いわて労連が木戸口予定候補と政策協定結ぶ



いわて労連は、岩手の野党統一候補・木戸口英司氏（立憲民主党）と政策協定（別添参照）を結び、推薦を決定して参議院選挙をたたかいます。いわて労連は6年前の参議院選挙で野党統一候補として木戸口氏を推薦して国会に送り出してきました。その後の6年間で木戸口議員との信頼関係を深めてきました。今回の参議院選挙にあたっては、県内の立憲野党3党（立憲民主党県連、社会民主党県連、日本共産党岩手県委員会）が2月に木戸口氏を野党統一候補として確認しました。5月13日には野党共通政策が合意され、達増拓也県知事の後援会

をブリッジにして協定されました。いわて労連も木戸口氏と政策協定の調整をすすめ、6月5日に調印しました。その内容は、「安保法制廃止・立憲主義回復」にとどまらず、「改憲阻止」、「核兵器禁止条約署名・批准」、「被災者生活再建支援金引き上げ」、「ALPS処理水海洋放出反対」、「エッセンシャルワーカー待遇改善」、「中小企業を支援して最賃 1500 円・全国一律最賃正実現」、「消費税 5%減税」、「年金削減中止」、「高齢者医療費 2 割負担中止」、「米価暴落対策を強化」など、野党共通政策をふまえ、私たちの要求課題を盛り込んだ充実したものとなりました。私たちの要求を実現する「野党統一候補」として、機関紙を通じてすべての組合員にお知らせしているところです。6月4日には小畑雅子・全労連議長を講師に「22 参議院選挙学習決起集会」を行い、平和と暮らしを守り、私たちの要求実現のために「選挙に行って政治を変えよう」と意思統一しています。職場や地域で学習と対話をひろげて奮闘していきましょう。

(いわて労連 中村健事務局長)

2022 年参議院議員選挙勝利をめざす全労連決起集会

(1) 日時 2022 年 6 月 17 日 (金) 14:00~16:00

(2) ところ 完全オンライン方式 (全労連会議室から配信)

(3) 内容

議長挨拶

学習講演 「参議院選挙の情勢と課題」(仮)

石川康宏 神戸女学院大学名誉教授、全国革新懇代表世話人

取り組み交流

行動提起とまとめ

ZOOM ID は全労連連絡文書でお知らせしています。

参加報告、問い合わせは参議院選挙闘争本部事務局 (憲法平和グループ)

move@zenroren.gr.jp までお願いします。